

【ドクターヘリによる転院搬送活動を紹介します】



- 119 番通報から 30 分後、当院のヘリポートにドクターヘリが着陸しました。
この日は、一酸化炭素中毒の患者さんを広島大学病院高度救命救急センターへ転送します。



- 島根県立中央病院のフライトドクター及びナースが降りてきました。
総務課の担当職員が出迎え救急室まで案内します。



- この日のフライトドクターは松原先生、出迎えた医師は石原院長です。（二人は日本救急医学会中国四国地方会長を歴任された救命救急医療のスペシャリストであり、島根県のドクターヘリ事業導入に尽力されました。）



- 救急室へ向かう間も、当院で救命に当たった医師と引き継ぎを行います。



- 当院の1階渡り廊下から患者さんが運ばれてきます。
ヘリポートが併設されている当院はストレッチャーのまま移動できる強みがあります。



- ドクターヘリのスタッフと救命にあたった当院のスタッフに見守られながら搬送します。



○ ドクターヘリ搬入まで当院の医療スタッフが付き添います。



○ 青空へ向けて於保知盆地（おおちぼんち）を離陸しました。
広島大学病院まで約20分の飛行時間です。

（ 文責 ： 事務部長 日高武英 ）